

<b>■After</b> <b>建築名称</b> 下段: 英語名	<b>稲荷湯長屋</b>			
<b>建築用途</b>	<b>大分類</b> 住居施設、商業施設	<b>小分類</b> 住宅、飲食店(サロン)		
<b>改修設計者</b>	(一社)せんとうとまち / (株)YUAN ARCHITECTS			<a href="#">URL</a>
<b>所在地</b>	東京都北区滝野川6-27-14			<a href="#">Google Map</a>
<b>改修年</b>	2021年～2022年			<b>After</b> 二軒長屋の外観:奥を当初の姿へ修復、手前をサロンへと改修
<b>建築規模</b>	木造平屋建て		<b>撮影者提供者</b> 撮影:TADA 2020年 提供:(一社)せんとうとまち	
<b>掲載書誌</b>	新建築2023年9月号		<b>概要 after</b> 「ワールド・モニュメント財団とアメリカン・エクスプレスの支援及び文化財補助事業費を受け、稲荷湯と併設した二軒長屋の再生。一戸を当初の姿に、もう一戸をサロンに改修。	
<b>賞・選定</b>	国 登録有形文化財、ワールド・モニュメント財団ウオッチ・リスト2020			
<b>資料・その他</b>	長屋工事の概要図			<a href="#">URL</a>
<b>■Before</b> <b>建築名称</b>	<b>稲荷湯長屋</b>		<b>概要 before</b> 旧中仙道沿いから移築され、当初は銭湯の従業員の宿舎として、その後借家として使用され、近年は銭湯の倉庫と空き家になっていた	
<b>建築用途</b>	<b>大分類</b> 住居施設	<b>小分類</b> 長屋	<b>After</b> サロンに利用されている一戸。畳は撤去され土間に、天井は撤去し小屋組を見せている	
<b>■写真</b> Before 改修前の外観	<b>After</b> 当初の姿に修復された一戸。集会やサロンの客席として利用されている	<b>After</b>		
				
<b>撮影者提供者</b>	撮影:TADA 2020年 提供:(一社)せんとうとまち	<b>撮影者提供者</b>	撮影:TADA 2022年 提供:(一社)せんとうとまち	
<b>撮影者提供者</b>	撮影:TADA 2022年 提供:(一社)せんとうとまち	<b>撮影者提供者</b>	撮影:Yuka Ikenoya (YUKAI) 提供:(一社)せんとうとまち	
<b>■リノベーション内容</b>	<b>キーワード</b> 復原・復元、用途変更、外観保存、文化・産業遺産、補強	<b>内容</b> <せんとうとまち新聞 稲荷湯修復再生プロジェクト より抜粋> Before/After 一戸を当初の姿へ、一戸をサロンへ・・・長屋は文化財建造物として、外観、柱、土台、小屋組など構造材は保存し、現状を維持しつつ耐震補強や改修工事を行なった。二軒長屋のうち、保存状態が良い一戸は当初の姿に復元し、改修された経緯があるもう一戸は新しいサロンとして活用改修を行なった。腐朽が激しかった部分には、墨田区京島の乳販売店(昭和35年築)の建具や、文京区千石の長屋住宅の天井板など、譲り受けた部材を活用している。 ワールド・モニュメント財団に申請・・・実質的な支援を得るため、銭湯の文化的・社会的価値や今後の可能性を「稲荷湯修復再生プロジェクト」と題した計画書として取りまとめた。そして、ニューヨークに本部を置き世界中の危機的遺産への支援を行っている「ワールド・モニュメント財団(以下、WMF)」に申請。結果世界中の250件からWMFのウオッチ・リスト2020の25件に選ばれ、稲荷湯は同時に選定されたノートルダム大聖堂やマチイピチュの文化的景観など世界遺産と肩を並べることとなった。稲荷湯の持つ地域への影響力や、地域の人々から愛される唯一無二の場所である事が決め手となった。		
<b>■備考</b>				
<b>■作成者氏名/所属</b>	桐原武志 / Free JIA再生部会		<b>作成協力者</b> (一社)せんとうとまち	